

定時制午前部教育目標	重点目標(中長期的目標)	上半期の成果
三部からなる定時制の特色と単位制の趣旨とを活かし、生徒・保護者のニーズに応える教育を行う。	単位制の一層の推進・充実を図るとともに、生徒が時間を有効に活用しながら、基礎学力と基本的な生活習慣とを身につけ、活力ある学校生活を送ることができるようにする。	上半期の成果
	今年度の重点目標	
	1. 生徒一人ひとりの個性の尊重と自主性の育成 2. 集団生活の中でルールを守る態度の育成 3. 基礎学力の定着と進路指導の充実	

領域	対象	評価項目	評価の観点	上半期の成果	
教育	学習指導	教育課程	開講科目の充実	様々な「学び直し」を願い、未来を拓こうとする生徒の希望がかなえられるような講座の設定、および編成ができたか。	可能な限り希望に添った編成に努めた。多くの公開(社会人聴講)講座を新設できた。
		基礎・基本の定着	可能な限りの教科・講座で習熟度別授業を展開し、基礎学力の定着に向けた指導ができたか。 生徒による授業評価を行い、活用できたか。	国・数・英の3教科で計19講座の習熟度別授業が展開でき、基礎学力の定着と伸長に努めた。 2期制移行に伴い、実施時期と方法について検討を加えながら、継続するよう努めている。	
		個別に即した指導	必要とする学力を個別に即して着ける指導ができたか。	個別指導や個人面談などを実施している。	
	生徒指導	ルール・マナーに対する意識の向上	生徒会と連携できたか。 生徒・保護者から信頼される指導はできたか。	生活委員会・生徒会役員と協力した掲示活動で、マナーについての自主的な意識向上に努めることが出来た。	
		不登校生徒などへの対応	情報を共有して支援できたか。 保護者との連携は強化できたか。 外部専門家などと連携できたか。	ハローワーク訪問や医療機関の紹介・相談窓口など、外部専門家と連携して、個々の生徒に対する具体的な支援が出来た。 不登校生徒などの「親の会」の企画が出来た。	
		暴力やいじめの防止	年次会・職員相互で連携できたか。 生徒・保護者との信頼関係は構築できたか。 人権感覚が向上したか。	担任と生徒との信頼関係により、保護者とも信頼関係が構築できた。体験型の人権教育実施により、生徒が具体的に人権感覚を磨くことが出来た。	
	生活	喫煙や薬物防止	校内外の巡視および啓蒙活動はできたか。	外部講師の具体的な話で意識を高めることが出来た。	
		交通安全指導	原付通学許可者への講習ができたか。	地域を管轄する交番の協力を得て、実技と講話の講習が出来た。	
	進路指導	職業観・勤労観の育成	生徒に正しい職業観を育て勤労の意味を学ばせることができたか。 免許や資格に関する情報を与え、取得するにはどうするのか調べさせる指導ができたか。	全校生徒対象に実施(6月)した職業体験型ガイダンスは進路選択意識の向上に役立った。卒業年次生への指導は継続中であり成果が待たれる。今後は各 HR でハンドブックを活用して指導したい。	
		進路指導の充実・強化	定時制ハンドブック(進路編)を使い VHR や年次別ガイダンスで指導できたか。 進路指導室の各種情報誌・情報端末未利用、説明会などで生徒ひとりひとりに行き届いた指導ができたか。		
個別指導の重視		個人面談・保護者懇談の機会を多く設けて、生徒自身の個性と能力を生徒に自覚させるよう指導できたか。			
生徒会活動	くれき野祭の充実	それぞれの役割分担の中で、多くの生徒が主体的に取り組めたか。	今年度は「お化け屋敷」「ファッションショー」「お茶会」などの新しい企画を実施し、また露店の数を増やした。スタッフを募集したところ、今までの午前部の中で一番のスタッフ数を集めることができ、お互いに協力し合い、主体的に取り組むことができた。		
	委員会活動の充実	各行事や活動計画に向けて、積極的に取り組めたか。	日々の生活改善のため、ポスターによる呼びかけ、生徒昇降口の花の育成、体育祭の運営、生徒会選挙運営など各委員会の年間計画に基づいて活動することができた。		
地域との連携	公開授業・学校説明会の充実と社会人聴講生の受け入れ	公開授業をさらに推進するとともに、充実した学校説明会を行ったか。 地域や社会に開かれた学校作りを進めるとともに、社会人の学習機会拡大を企図した講座を設定し、生涯学習の場を提供できたか。	5月に授業参観実施。社会人向けの6講座(うち午後1に3)を新設し、聴講生が在校生とともに学習を行っており、好評である。また7月に松本市との共催により、もの作り講座2講座も開設、好評であった。		
	組織の運営	単位制の一層の充実	「内規集」および「定時制ハンドブック」を全面的に見直すとともに、有効な活用ができたか。	「内規集」は、改訂中。 「定時制ハンドブック」は、転換後の実態を踏まえ、11月中旬改訂に向けて検討を重ねている。	
校務	組織の充実	学習指導と進路指導をより充実させるための組織づくりができたか。	検討中。		
	校務分掌の検討	仕事の分担は適正だったか。 意見を総括する中で、協力体制を確立できたか。	新体制移行中、各部署間の協力体制がより緊密になった。		
研修	カウンセリング研修	不登校生徒などへの共通理解を持つことができたか。 上記生徒へ適切に対応するための研修ができたか。	月1度のワークショップ(生徒の情報交換を含む)を持つよう努めるとともに、8月には特別支援教育に関する定時制全職員参加の研修会を実施した。		
	授業法の研修	学習指導に関する研修の必要性を共有し、機会を設定したか。 校内授業公開を実施し、学習指導の研究に活用できたか。	計画中。		